

あいち病害虫情報 最新情報

平成29年10月17日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

気温は高く、降水量は多い見込み

名古屋地方気象台10月12日発表の1か月予報によると、向こう1か月は、気温は高く、降水量は多い見込みです。特に2週目を中心に気温がかなり高くなる可能性があります。

果樹カメムシ類に注意！

豊橋市に設置した予察灯において、果樹カメムシ類の誘殺数が9月第5半旬から増え始め、10月第2半旬に急増しました。今後、カンキツやカキで被害の発生が予想されます。詳細は、本日発表の「平成29年度病害虫発生予察注意報第7号」を参照してください。

キャベツ黒腐病などの細菌性の病害に注意！

キャベツ黒腐病やキャベツ及びハクサイの軟腐病など細菌が原因となる病害は、風雨により発生が助長されます。気象予報によれば、気温は高く、降水量は多い見込みのため、注意が必要です。昨年度、発生が多かったほ場では特に注意しましょう。降雨が続くと予想される場合や、台風などの激しい風雨が予想される場合は、降雨前後に抗生物質剤や銅水和剤などで防除しましょう。なお、銅水和剤を用いる場合は、炭酸カルシウム剤（クレフノンなど）を加用して、葉害の発生を防ぎましょう。

ハクサイではアブラムシ類の発生に注意！

9月下旬の調査では、アブラムシ類の発生量がやや多い状況でした。発生が見られるほ場では、結球前に防除を徹底しましょう。

コナガの発生に注意！

コナガは、10月上旬のキャベツ及びハクサイほ場における発生量とフェロモントラップにおける誘殺数はやや多い状況です。ほ場での発生状況に注意しましょう。コナガは薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用を避けて防除しましょう。

チョウ目害虫の発生に引き続き注意！

シロイチモジヨトウは、10月上旬のキャベツほ場における発生量とフェロモントラップにおける誘殺数がともに多い状況が続いています。ハスモンヨトウとオオタバコガは、10月上旬のキャベツほ場における発生量はやや少ないですが、フェロモントラップにおける誘殺数はハスモンヨトウでやや多く、オオタバコガについては東三河地域でやや多い状況です。気象予報によれば、今後気温は高い見込みで、これらの害虫の発生に好適な条件が続きます。ほ場での発生状況に注意し、適宜防除しましょう。

施設野菜の病害に注意！

長雨の影響で、施設野菜においてトマトすすかび病やナスすす斑病、キュウリべと病などの病害の発生が増加する可能性があります。発生状況に注意し、防除を徹底しましょう。

イチゴの病害虫

9月下旬の調査では、ハダニ類の発生量は平年並でした。しかし、気象予報では気温は高い見込みでハダニ類の増殖に好適な条件が続きます。多発した後では防除が難しくなるので、気門封鎖型薬剤を積極的に活用し、同一系統薬剤の連用を避けて防除しましょう。

炭疽病は、気温の高い状況が続くと発生量が多くなります。引き続き発生に注意して、発病株を見つけたら速やかに抜き取り処分しましょう。

ダイズの害虫

ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺数は、豊田市ではやや多い状況ですが、その他の地域では平年並からやや少ない状況です。オオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺数は豊田市と西尾市でやや多い状況です。吸実性カメムシ類やチョウ目害虫の発生が多いほ場では、収穫前日数に注意して防除しましょう。

予察灯、フェロモントラップなどの各種調査データは、ホームページ「あいち病害虫情報」（アドレス：<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/investigation.html>）を参照してください。

問合せ先 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫防除室
TEL 0561-62-0085 内線471 FAX 0561-63-7820